

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

2018年度

事業報告書



かあさんの家お花見会 in フローランテ宮崎

1、活動のまとめ	… 1
2、2018 年度事業活動実績	
1) 在宅ホスピス支援センター事業（ホスピスボランティア活動）	
①大切な人を亡くした方の集い	… 3
②患者らいぶらり	… 3
③宮崎聞き書き隊	… 4
④看取り寄り添いナース・ボランティア	… 5
⑤緩和ケア病棟園芸ボランティア	… 5
⑥ふらっとカフェ（がんサロン事業・宮崎県委託）	… 6
2) 人材養成のための教育プログラム	
①市民公開講演会「ピンピンコロリ」って可能ですか？（宮崎市委託事業）	… 7
②これからライフデザイン塾	…10
③がんカウンセラー養成研修会（宮崎县委託事業）	…12
④ホームホスピス宮崎創立 20 周年記念事業 記念講演と映画上映会	…16
3) エンドオブライフケア支援事業	
①暮らしの保健室	…20
・ゆるりサロン、えがおキッチン、お灸教室、ゆるり短歌会	
②宮崎市在宅療養支援事業（よろず相談室）	…25
③ホームホスピスカあさんの家事業	…26
4) 医療・介護保険規定による事業	
①訪問介護ステーションぱりおん	…29
②居宅支援療養事業所ぱりおん	…29
③訪問看護ステーションぱりおん	…30
5) ホームホスピス推進研修センター事業	
①日本財団在宅ホスピス実践リーダー養成プログラム	…32
②一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局の運営	…33
6) 街中ごちゃまぜプロジェクト	…34
7) 情報・広報	
①ニュースレター発行、ホームページ、マスコミなどの紹介、雑誌などへの掲載	…36
②講師派遣、見学者受け入れ	…
36	
8) 組織運営	
①理事会・総会	…39
②事務局	…39
◎ 2018 年度決算(案)・財産目録・監査報告	…40

1. 活動のまとめ

◎ホームホスピス宮崎は、設立 20 周年を迎えました。

1996 年、病院から家に帰りたいというがん患者を支えようと在宅ホスピスの勉強会が始まり、1998 年 4 月任意団体としてホームホスピス宮崎が発足しました。2000 年に特定非営利活動法人に認証され、2015 年 3 月宮崎県の認定特定非営利活動法人（認定 NPO）になり 4 年が経過しています。設立 20 周年を記念して講演と映画会を開催しました。映画「人生フルーツ」は、老いを淡々と受け入れ、日々の暮らしを大切に生活する二人の夫婦のドキュメンタリー。人生の幕を閉じるまで一日一日を丁寧に暮らすというテーマは、かあさんの家の実践にも通じるもので、記念講演は「宮崎をホスピスに」と願っての 20 年の歩みをたどり、「かあさんの家」で最後の時間を暮らした方々の物語を通じて、最期まで安心して暮らせるまちづくりについて改めて市民の皆さんとともに考える良い機会となりました。

◎「これからライフデザイン塾」の開講

超高齢時代にどう自分の人生をデザインして暮らしていくのかを考える為に、本年度より「これからライフデザイン塾」を新たに開講しました。人生 100 年時代と言われる中、どうやって自分を磨いていくのか、どうやって自分をプロデュースしていくのかを、共に考える為に少人数で 5 つの講座を組みました。内容は聞き書き講座や遺言などの終活、日本文学を紐解くなどですが、塾生同士のつながりも生まれ、今後もこの講座を継続して開催していく計画です。

◎暮らしの保健室の役割

「ゆるりサロン」は週 2 回定期的に開かれています。一人暮らしの高齢の方や、要介護であっても家族が留守の時の利用など、気軽に集ってこられます。ここに来ると馴染みの顔があり一緒にお昼ご飯を食べおしゃべりする楽しみが、健康を取り戻し認知症等の進行を抑えています。また、この空間は、宮崎聞き書き隊の毎月の例会や勉強会、かあさんの家スタッフ研修会、名画鑑賞会、えがおキッチン、ゆるり短歌会など、様々な集いの場としての役割を果たしています。20 名から 30 名の小規模であれば地域に開放し、赤江地域まちづくり会議や街中ごちゃまぜプロジェクトなどにも使われます。その内容を毎月ニュースレターとして発行しています。

◎相談事業と支援

宮崎市在宅療養相談支援は、宮崎市の補助を受けて運営され、相談電話を訪問看護ステーション内に設置しています。相談内容は癌の治療などの専門的な医療への不安や、介護に関するもの、どのように施設を選べばいいのか等、医療や介護に関する相談に加え、本年度は、家族を看取った後の悲嘆（グリーフ）ケアや介護うつの相談など多岐にわたりました。

ふらっとカフェ（がんサロン事業）は、宮崎県の事業委託です。毎月 1 回宮崎県立病院の会議室をカフェにしてお茶やコーヒーでもてなし、アロマセラピストのボランティアも参加しています。癌の病気のことだけでなく、家族のことや経済的なことなど何でも話せる場として、リピーターが増えています。

◎ホームホスピスカあさんの家の運営

今期は、かあさんの家の住人8名の方を看取りました。がん、神経難病、心疾患の方々に、気管カニューレや経管栄養など、こまめな支援が必要な方々でした。3軒の運営に訪問介護ステーションぱりおんのスタッフ21名が、24時間切れ目のないケアを提供していますが、医療的依存度の高い方のケアの場合、喀痰吸引の資格を持っていることが必要とされます。介護スタッフの不足で、人員配置に余裕のない状態が続き、新たなスタッフの雇用に努力する一方、やりがいのある仕事で楽しい職場となるように環境を整えてきました。

本年度も日本財団ホームホスピスリーダー養成研修生や、研修医、看護学生などの実習を受け入れました。また、消防法の改正により重度の介護が必要な方が暮らしている施設にはスプリンクラーの設置が義務付けられ、日本財団の助成を受けて、3軒とも平成30年10月末に設置完了しました。

◎訪問看護ステーションぱりおんの運営

訪問看護ステーションぱりおん（2015年開設）は3年を経て、癌終末期の方や医療的ケア児の訪問など、重度のケアが必要な方の訪問看護を担っています。訪問看護は常に24時間連携体制が必須ですから、スタッフ人員の厳しい中、理学療法士の増員やパート勤務などの助けを借りて、ケアの質を大切にすることで実績を積み上げてきました。

医療的ケア児の在宅療養の環境がまだ宮崎では整っておらず、そのようなケア児の訪問看護を行い、時折家族のレスパイトなどの支援を制度外で行っています。来期は医療的ケア児や医療的依存度の高い重度介護の方の在宅療養の為の支援を模索し、新たな看護体制の構築に向けての一步を踏み出す計画です。

◎街中ごちゃまぜプロジェクトの検討

平成26年4月から橘通り東3丁目の実家跡地を宮崎のために活かすことはできないだろうかとかあさんの家のご遺族（本部氏）の提案を受けていました。以来どんなことが可能かプロジェクトを組んで（医師、訪問看護師、薬剤師、相談員、歯科医、親の会、事務局）、月1回のペースで集まり模索してきました。4月には、福井県、富山県、石川県、鹿児島県の先進的な取り組みを視察し多くのヒントを得ました。多様な人が多様な利用をして、街の真ん中で過ごすことができる仕組みができないかを検討し、2月には具体的なプランを練り新たな事業へのステップを目指していくことになりました。

◎事務局体制の充実と（一社）全国ホームホスピス協会事務局の運営

2015年9月一般社団法人全国ホームホスピス協会が発足し、その事務局をホームホスピス宮崎（HHM）に置き、HHM本部事務局と協会の仕事を両方担っています。かあさんの家の実践から広がって、全国のホームホスピスは現在40か所、建物（家）の軒数では55軒となっています。ホームホスピスの基本はまちづくりですから、NPOとしてのあり方や、運営やケアの質をどう担保していくのか等、モデルとしての役割も大きくなっています。HHM事業が円滑に進むように会員管理や労務管理、経理や文書の作成などの業務と、全国のホームホスピスの様々な相談にのる等、多岐にわたっています。

2、2018年度(平成30年度)事業活動実績

1) 在宅ホスピス支援センター事業 (ホスピスボランティア事業)

事業	事業概要	事業内容と実績
大切な人を亡くした方の集い	<p>実施日時: 毎月第4月曜日 10:30～ 場所:日本キリスト 教団宮崎教会</p> <p>担当:脇坂峰子</p>	<p>◆実施日:(参加人数) 2018年4/23(5), 5/28(6), 6/25(5), 7/23(5), 8月休会 9月休会, 10/22(6), 11/26(5), 12/10(7) 2019年1/28(4), 2/25(6), 3/25(5) <u>合計 10回 延べ参加者数 54名</u></p> <p>◆内容: 8月は例年休会にしていますが今年度は9月、第3・4月曜日は祝日と重なり休会としました。 昨年度、病気から再起されて再び出席されていた方が再び入院されましたが、一回欠席だけで元気に参加されています。この会が、心の拠り所のようなのです。 ご主人を亡くされ周りから「いつまでくよくよしているのか」と言われて元気を無くしている事をお聞きして、「大切な人」をお誘いしました。月曜日は用事があるのだけれどと言われ、一回出席されました。2019年度も9月は祝日が重なっています。お元気だった方達もディサービスに行かれています。この会には出席が前提のようです。</p>
患者らいろいろ	<p>実施日時: 毎月第3木曜日 14:00～16:00 場所: 古賀総合HP 中央4F病棟 東棟3F病棟産婦人科</p> <p>担当:畠山桂子(～11月) 峰瑞枝(12月～)</p> <p>◆ボランティア:4名 峰 瑞枝 野平 トヨ子 前田 せつ子 秋吉 佳代子</p>	<p>◆実施日: 2018年4/19、5/19、6/21、7/19、8/16、9/20、10/18、11/15、12/20、 2019年1/17、2/21、3/21 <u>合計 12日 活動延べ人数・・・28名</u></p> <p>◆貸し出し 中央4階内科病棟 利用した人数 483名 貸し出された冊数 740冊 産婦人科病棟 利用した人数 219名 貸し出された冊数 463冊 <u>総合計 利用者 702名 貸出冊数 1,203冊</u></p> <p>◆返却 中央4階内科病棟 利用した人数 484名 返却された冊数 632冊 産婦人科病棟 利用した人数 224名 返却された冊数 445冊 <u>総利用者 708名 返却された冊数 1,077冊</u></p>


事業	事業概要	事業内容と実績
患者らいつぶらり		<p>・産科の本棚の前にいらした男性「これはどんな仕組みでなされているのですか？」と質問を受けました・どういう所がやっているのか(HHM)どういう人が携わっているのか (ボランティア)を説明させていただきました。「非常に良い取り組みですね」とお褒めいただきました。うれしいですね、こんな評価をいただくと！</p>
宮崎聞き書き隊	<p>◎聞き書き定例勉強会</p> <p>実施日時: 毎月第2日曜日 10:00～12:00</p> <p>場所: 暮らしの保健室 市民活動センター 担当:井上直敬</p> <p>◎リレー聞き書き 場所:デイケアかなりあ ハートピア細見クリニック 参加ボランティア:4名 高橋芳香 西川良子 廣井寿美子 井上直敬</p>  <p>◎個別の聞き書き 依頼を受けて聞き書きを実施</p>	<p>◇聞き書き勉強会 (参加者数) 2018年4/15(5)、5/(休会)、6/10(7)、7/8(5)、8/4(7) ※9/9(市民プラザにて)、※10/21(これからライフデザイン塾にて) 11/11(2)、12/9(2)、2019年1/20(7)、2/17(9)、3/10(4)</p> <p style="text-align: center;">合計 11回 延べ参加者数: 48名</p> <p>講座を受けたあとを定着した活動に導くために、聞き手・書き手としての疑問や行き詰まりを解消するために定期的実施している。また交流の場、情報交換の場としての機能ももっている。</p> <p>◇リレー聞き書き 細見クリニックの‘デイケアかなりあ’で実施されている回想法によるケアに黒子として参加し発せられる言葉をリレー式に拾い集めて各利用者別に一冊の聞き書き本として差し上げている。</p> <p>ボランティアが4名に減ったことにより聞き取り、書き起こし、編集ともにパワーダウンして仕上がりも減少しました。その対応として細見クリニックのスタッフが編集作業を担ってくれるようになった。</p> <p style="text-align: center;">合計 26回 延べ 26人</p> <p>利用者 19名 (延べ114回) 冊子 14名 (延べ108回分) に冊子を差し上げることが出来た</p> <p>◇個別聞き書き 廣井 80歳代・女性 『戦争だけは嫌です』 戦死した父が乗っていた戦艦。当時はどこでどうして亡くなったが分からなかった。 戦後、国会図書館で資料を見つけ状況を知ることが出来たという話</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
宮崎聞き書き隊	◎聞き書きの研修	<p>◇聞き書き学校 岩手県一関市で開催。9名（聞き書き隊6名+HHM3名）参加</p> <p>◇聞き書き講座 これからライフデザイン塾の第一講として 10/21（市民プラザ）で開催 受講者 6名</p>
看取り寄り添いボランティア	看取り寄り添いナース ボランティア 久保野イツ子 本田澄子 入佐典子	<p>○活動実績はなし ボランティアの事情により、実績を上げることはできなかった。この事業は、これからの高齢化社会において、看取りの重要性が課題となっている中であり、それをサポートする活動はますます必要となる。 今後とも行政や医療機関にこの活動を呼び掛けていくことが必要である。 また、宮崎長寿社会懇話会（森憲正氏の呼びかけで設立された）など、有識者会議などを通じて、必要性を提案していきたい。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">緩和ケア病棟園芸ボランティア</p>	<p>実施日時： 毎月第1・第3水曜日 10:00～12:00</p> <p>場所： 宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟 中庭</p> <p>◆園芸ボランティア： 村中伸子、南涼子 高木典代、甲斐ケイ子 脇坂峰子、原田ゆみ子 岩本錦子、岩本玲子 中村ヨシ子、牧野清子 中田紀久子 計11名</p>	<p>◎緩和ケア病棟の庭園の花の管理等</p> <p>◆手順</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、緩和ケア病棟の受付に挨拶し、受付で鍵を借りる 2、庭で植物等の手入れをする 3、ボランティアルームで活動ノートを書き、受付で終了の旨伝え辞す <p>◆実施日(参加人数)</p> <p>2018年4/4(2)、4/18(5)、5/16(3)、6/6(1)、7/4(2)、7/18(1)、9/5(1)、9/19(5)、10/3(3)、11/7(5)、12/5(4)、2018年1/16(4)、2/20(1)、3/6(1)</p> <p style="text-align: right;">合計 14日 延べ参加人数 38名</p> <p>*年末に、学生さんたちが植栽して下さったお花が育って、色鮮やかに華やかになりました。 *庭を見ましたらお花も美しく咲きそろっています。雨で生き生きとしている様に感じて安心しました。</p> <p>◆活動内容</p> <p>4/4・・・枯葉掃き、花柄摘み、草取り、水やり 4/18・・・花柄摘み・枯葉・枯枝取り 5/16・・・草取り、枯枝切り、花柄摘み、水やり、枝落とし 6/6・・・枯葉、草取り掃き、散歩道の草カット 7/4・・・枯葉取り、枯花抜き、カット 7/18・・・レモンユウカリの枯葉掃除、枯れた株除去、水やり</p>
---	---	---

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">緩和ケア病棟園芸ボランティア</p>		<p>9/5・・・フェニックスの大枝片付け、テラコッタの中の草取り 枯葉除去、落葉掃き 9/19・・・枯葉集め、水やり、枯枝切り 10/3・・・台風の後片付け(枯枝、枯葉等)、枯枝切り 11/7・・・枯葉、落葉拾い、草取り 12/5・・・枯葉拾い、枝切り、落葉掃き 1/16・・・枯葉、落葉拾い、掃き、花柄摘み 2/20・・・花柄摘み、枯葉拾い 3/6・・・残念ながら雨でした</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">んサロン</p>	<p>実施日時： 毎月第2水曜日</p>	<p>◆実施日(参加人数)</p>

	<p>13:30～16:00 場所：県立宮崎病院 3階会議室</p> <p>カフェスタッフ： 市原美穂、久保野イツ子、 太田幸子、村中伸子、 有村喜久代</p> <p>(呈茶) 緒方道子、竹井由夏</p> <p>(アロマセラピスト) 日高里美、杉尾ひろみ、 児玉千穂、田端千春、 藤島美智子、川越紀子、 廣島早苗</p> <p>担当：太田幸子</p>	<p>4/11 (16)、5/9 (8)、6/13 (14)、7/11 (14) 8/8 (8)、9/12 (14+見学者)、10/10 (19+見学者) 11/14 (16)、12/12 (12)、2019/1/9 (9)、2/13 (16)、3/13 (16)</p> <p>合計 12日 延べ参加人数 162名</p> <p>◆<u>ふらっとカフェだれでもふらっと気軽に立ち寄れる場</u> 県病院内の全職員へチラシを配布、外来等に掲示、患者さんへも配布。当日は、がん相談室担当の方が、手作りで案内板を正面玄関の所に立ててくださる。今期、久保野が院内の医師、看護師向けの緩和ケア研修会でふらっとカフェの意義と実際を紹介をした。</p> <p>◆<u>カフェ開店のスタッフの手順</u> 当日、会議机を動かし、テーブルクロスをかけ、花を飾り、写真を壁に掛け、絵をイーゼルに掛け、音楽を流し、入口にカフェ看板を立てる。コーヒー紅茶、抹茶、緑茶などの温かい飲み物と、ちょっとしたお茶菓子を用意する。県内のがんサロンの一覧、闘病記、食事療法、ガイド本、絵本なども用意する。来場者をテーブルに招き、まず飲み物の注文を訊き、飲み物とお茶を出しお話を伺う。</p>
--	---	---

事業	事業概要	事業内容と実績
<p>エ事業・主催：宮崎県 がんサロン(ふらっとカフェ)</p>		<p>◆<u>内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩みを抱えた来訪者は、自分のことを話したくて来られている。 ・人に話すことにより、悩みから解放され、自分の考えを整理していく過程となっている。外では、周りに人がいるので、がんの話をごんごんにすることはできない。 ・月に1回、自分の経過を話し、同じ種類のがんの友人と話をすることで、経験が役に立ち、心配事を解消する場ともなっている。 ・退院時にかかる費用がわからない不安（経済的な不安には、相談室に連絡を取り概算を出してもらえた。 ・自分のがんが見つかったが、高齢だから手術や抗がん剤はし

	<p>ないと決めたと言われた方には、今後、在宅で診て下さる医師を早めに探し、連絡を取っておくこと、自分の意思を家族にも話しておくこと、それを「わたしの想いをつなぐノート」などに書き留めておくことなどをアドバイスした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アロママッサージは、気持ちが良いと楽しみに来られる方も多くなった。アロマがカフェに来る動機づけになっている。マッサージをされながら、思わず心の奥の言葉が解放されるようだ。 ・高千穂から、花、竹細工など、毎回季節の物をわざわざ持って来られる方、カフェで皆に喜んでもらえることがその方の喜びや張り合いとなっている。 ・健康食品や代替療法の情報を求めてこられる方もあるが、正しい情報かどうかを見極める方法をお話し、他に治療法がない方などは、高額や体に害がない物でなければ、望みになっている場合もあるので、無理に止めるように言わないこともある。何回か来られるうちに、仲間ができ、皆で話ができ、笑うことができる、楽しい時間となってきている。カフェの日だけは、また来ようと思っている。 ・初回の方は、賑やかな雰囲気に圧倒されることもあるが、皆さんががん患者だとわかると元気をもらえるとされる。病人になっていなくても良いことを知り、自分で体力を回復させるために歩くなど行動することで元気になれる ・闘病中の先輩の生活の工夫や、医師との上手な関係づくりやコミュニケーションの方法、病気に対する考え方などを学び、自分にも取り入れられる工夫を知る事となる。自然にピアサポートの場となっている。
--	--

2) 人材養成のための教育プログラム

①平成 30 年度宮崎市在宅療養相談事業

市民講演会 「ピンピンコロリ」って可能ですか？

【開催概要】・ 期日：2019 年（平成 31 年）2 月 3 日（日）14：00～17：30

- ・ 会場：宮崎市民プラザ・オルブライトホール
- ・ 講師：長尾和宏氏（兵庫県尼崎市在住）

医学博士。長尾クリニック院長、日本尊厳死協会副理事長、全国在宅療養支援診療所連絡会理事など役職多数。「Dr, 和の町医者日記」は、人気ブ

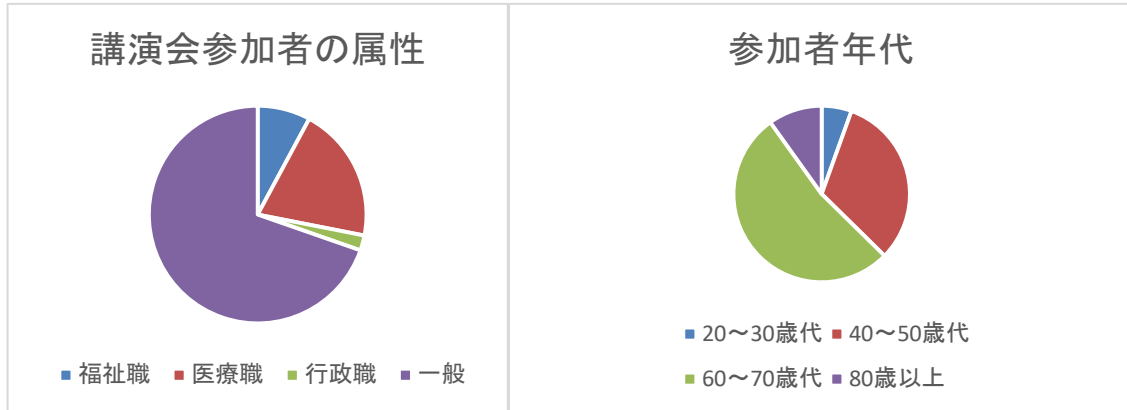


ログランキング医師部門1位を保っている。

*在宅療養相談の広報、宮崎市私の想いをつなぐノートコーナーを設置。

【当日参加者数】

- ・入場者数：170名（事前申込者133名、当日受付37名）
- ・実行委員・ボランティア数：11名、アンケート回収35%
- ・スタッフ・ボランティア数11名



【イベントを知ったきっかけ】（複数回答あり）

チラシ(17) 知人(21) 会員へのお知らせ(5) かあさんの家(12)
ホームページ(2) 新聞(22)テレビ(0) Facebook(3) SNS(2) その他(14)

【アンケート自由記入欄より抜粋】

- ・これからの高齢化社会に向けたとても有意義な市民講演会でした。「ピンピンコロリ」は私の理想です。これからはこの理想、希望に向けて努力したいと再認識しました。
- ・本人の意思が大切にされない国であることを再認識させられました。話し合うことが大切だと思いました。自分の家族のリビングウィルを確認しておかなくては…と思いました。
- ・「平穏死」について、どういうものか知ることができて大変勉強になりました。過剰な水分補給をしないことが苦痛を取り除くということ、大きな学びでした。
- ・どんな内容で講演されるのかと思っていましたが、2時間短い時間で大変勉強になりました。自分に置き換えてみて、このような方法で終わることができるように考えて生きていこうと思いました。何冊か本を読み、再度講師の講演を聞いてみたいと思いました。
- ・初めて自分家族の死についてこれだと感じさせられました。平穏死を私も選択したいと思った。色々本を読んでみたいと思いました。まだ「死ぬ」ということは他人事と思っていましたが、「平穏死」について考えることができました。
- ・「自分で決める」全く同感。残された時間、自分らしく「ピンコロ」を目指したい。とても素晴らしい時間をありがとうございました。
- ・看取りの考え方が整理されました。明日からの業務に参考にさせて頂きたいと思います。
- ・最期は自分で決める…その大切さについていろいろな場面を通してお話して下さいました。家族で医療・介護の方々と話をするという状態をつくっていくことの難しさも感じて

いますが（LWのみでなく）しっかり話し合っていきたいと考えます。

- ・死について深く考えました。最後を意識する年代なのでとてもよかったです。今から生きていく上での参考になります。色々と考えさせられました。又ぜひ講演に来て頂きたいです。
- ・とても為になる素晴らしい講演でした。こんな良いお話をもっとたくさんの方に聞いてほしいかったです。もっと宣伝して、また長尾先生を呼んでください。
- ・今までの講演の中で一番心に残りました。驚きのみ！
- ・自分の人生をまず考えなくては！と思いました。本当に他人事です。そして「今」携わっている方々の人生を今一度、考えてもらえるようにきっかけを作っていきたい。
- ・自分の最期について、しっかり考えるキッカケになりました。周囲の人にも伝えていきたいと思います。あっという間の2時間でした。
- ・期待以上の内容でした。道しるべをもらったように思います。



【総括】

◎「平穏死」をテーマにタイトルを決める際、一般の皆さんに分かりやすくと考え、長尾先生に問かける形の「ピンピンコロリって可能ですか？」とした。アンケートの中には、「まだ先と思いがちな死のこと、これを機会に夫婦だけでなく子ども達ともしっかり話し合っていきたい」「参加できて本当に良かった。生きること、死ぬことについて暗くならない程度に考えてみたい」など、「死」について考えることや向き合い方を明るく話せるきっかけとなったようだ。

講演の中で、兵庫県の医療・介護の多職種で演じた「劇団死期」のDVDも流れ、在宅医療に関しての取り組みが紹介された。笑いに包まれながらも「死」という重いテーマを演劇で表現する事例から、宮崎でもという声があった。自分の人生は自分で考える良い機会となり、アンケートの感想からも、感動が伝わってくる内容が多く寄せられた。

開催した2月はインフルエンザ等の流行時期であり、さらに学生が試験期間でもあるため、予約申し込みが少なかったが、当日開催を知って参加して下さった方もいた。大きな会場での開催だったため、参加された方からも「もっとたくさんの人に聴いてほしい」とのコメントがあった。今年度実施にあたって実行委員会形式をとらなかった。来期には再考したい。

◎総括

高齢多死社会になり、自分の人生のしまい方を真剣に考える人が増えている。人生の最終段階をどう迎えるのか、個々人の病気や状況は違うので、こうでなければならないという答えがあるわけではない。だが、だれにでも訪れる命の終わりに、目を背けずに考えたり、話を聞いたりすることは大切である。

厚労省は本年度「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライ

ン」を制定した。通称として「人生会議」と呼ばれる。宮崎市は先駆けともいえる「わたしの想いをつなぐノート」を作り審議会の中でも先進事例として提示された。一般市民の中に「死生観」を醸成するために、このノートとともに、長尾先生の講演は来場者に大きな感銘を

与えた。宮崎が“最期まで自分らしく”暮らせるまちづくりのためにも、最終段階の医療やケア、どこでどう生きていくのかの価値観も含めて、「人生会議」を元気な時から話せるように、啓発事業を継続して実施していくことが重要だと考える。



②これからライフデザイン塾

【開催の背景】

厚労省が公開した「平成29年簡易生命表」によれば、日本人の「平均寿命」が過去最高を更新して、男性は「81.09歳」、女性は「87.26歳」となった。100歳以上の高齢者は約7万人となり、そのうち88%を女性が占めています。この統計が示すものは、もはや定年退職して余生を楽しむ時代ではなくなった、その後の人生が長くなっているということを表している。このような時代背景を踏まえて、これからの自分の生き方を考え、超長寿時代の生き方を、元気なうちにどのように「身じまい」の支度をすべきか、また、そうした文化をどう構築していけばいいのかを考える足掛かりとする講座ができないだろうかと考えた。

ホームホスピス宮崎の教育プログラムとして、「ケアする人の為のスキルアップ講座」があり、その要素も残しつつ、少し内容を広げて企画しました。例年のボランティア養成としての聞き書き講座、終活として遺言のことや葬儀に関すること、日本文学を紐解く語りのと朗読の時間、フラを使っての体と心を解きほぐす時間、の5講座をプログラムした。

【開催概要】

- 第1回 期日：10月21日(日) 10:00～15:00
会場：宮崎市総合福祉保健センター視聴覚室
内容：物語を紡ぐ(聞き書きを通して)
講師：小田 豊二 先生
参加者：19名
- 第2回 期日：11月1日(木) 10:00～12:00
会場：宮崎市民プラザ4階
内容：物語を楽しむ(朗読・語りの魅力)
講師：藪田 潤子 先生



参加者：14名

第3回 期日：11月8日(木) 10:00～12:00

会場：宮崎市民プラザ4階

内容：遺言と相続(希望を叶えるために)

講師：金子 聡 先生

参加者：21名

第4回 期日：11月22日(木) 10:00～12:00

会場：宮崎市民プラザ4階

内容：人生の終い方(生前整理と死の準備)

講師：高橋 好香 先生

参加者 22名

第5回 期日：12月13日(木) 10:00～12:00

会場：メディキット県民文化センター 大練習室

内容：こころほぐし(フラの音楽と動きを通して)

講師：山本 和美 先生

参加者：24名



【まとめ】

周知がなかなかいきわたってなくて、受講参加者が予想よりも少なかった。しかし、少人数で顔見知りになり毎回同じ方々が集うことにより、お互いの交流ができているようだった。講師の方々には、聞き書き講師をのぞいて宮崎市在住の方々をお願いした。受講料を設定するにあたって、大まかに1講座1000円とした。合計では5000円となり、この価格設定が妥当なのか、検討が必要である。



③がんカウンセラー養成講座(患者・家 認知機能が衰えた方の意思決定を支援するためには

(宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託)

担当・報告 太田幸子

【開催概要】

期日：2019年(平成31年)3月10日(日) 10:00～16:00

会場：宮崎県医師会館2階大研修室

講師：稲葉一人先生

(中京大学法科大学院教授、熊本大学客員教授、三重大学医学部客員教授、判事、判事補、検事、米国連邦四方センター客員研究員を経て京都大学大学院医学研究科

博士課程後期を経て現在に至る。)

板井孝壺郎先生 (コーディネーター)

(宮崎大学医学部・大学院教授、宮崎大学医学部附属病院中央診療部門臨床倫理部長

日本医学哲学・倫理学会九州支部長、日本生命倫理学会評議員など。京都大学大学院

文学研究科博士課程 (倫理学) 修了)

演題：認知機能が衰えた方の意思決定を支援するためには～厚生労働省ガイドライン作成に関わって

～

参加費：1000 円 (資料代) 昼食付

【内容】

●稲葉一人先生の講義から抜粋

憲法の下、国会が作る法律、内閣が作る政令、厚生労働省などが作る省令とは別に、地方(都道府県・市)が決める条例などがある。法律・政令。省令などを法令といい、コンプライアンスが問われる。コンプライアンス：法令を守ること(違反しないこと)だけではなく、常識や倫理に照らして、正しい行動をすること・最高裁の判決のみが判例。

医師は、根拠をもってガイドラインを守らないこともある。法が予想していない先端分野、法が介入すべきか、法がそれを判断することが良いのかという分野もある。(厚生省)人生の最終段階の医療の決定のプロセスガイドラインのアルゴリズムでは、以前のものは、本人の意思が確認できない時は、家族の決定のもとにとあったが、今回は、本人の意思を推定すると変わった。本人の意思があれば、家族が反対してもできるということ。また、医療行為の開始・不開始、医療内容の変更、医療行為の中止といったことについて決定する時には、このプロセスをたどりなさいとしている。

話し合いの場は倫理コンサルタントの場である。・臨床倫理に関するガイドライン、手引きが学会で作られている。それに沿ってやったのが問題にされる。起こったことをどう評価するか、法的な評価規範の裁判では無罪になるが、これからどうするか判断の倫理的行為規範とは、ずれがあり、訴訟や内部告発、クレームなどが出るかもしれない。違法かどうかだけでは、医療の場では役に立たない。

道徳は個人的なもの、倫理は社会的なもの。法と道徳・倫理は基本的には一致しているか、相互に補い合う関係にある。右側通行・左側通行かといった全く関係ないもの、矛盾するものもある。・法を知らず守らないと(私たちは)不幸になるが、法を守っているだけでは、直ちに(患者の)幸せを生むものではない。倫理的配慮することで患者さんを幸せにすることができる。

自己決定権を憲法は、考えていなかった。憲法 13 条の「すべての国民は個人として尊重される・・・」を自己決定権の根拠規定と解釈する。最高裁平成 12 年 2 月 29 日判決のエホバの証人である患者への説明義務では、本人の希望をかなえるだけが自己決定権を支えることではないということ、自己決定が正しくできるようにインフォームドコンセントをすることを示している。最高裁平成 21 年 12 月 7 日判決の川崎協同病院事件では、適切な情報が伝えられたとは言えない。家族からの要請に基づき行われたもので、患者本人の推定的意思に基づいたものでないことから、法律上許容される治療中止には当たらないとしている。つまり、きちんと説

明し情報を与え、本人の推定意思があれば、法律上ありえることを示唆している。

認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援のガイドラインは平成30年6月22日厚生労働省から出された。2006年12月13日国連総会採択、日本では2014年2月19日批准発効された「障害者の権利に関する条約」がおおもとになる。障害者の権利、意思及び選好(好きだから好き)を尊重するしくみを作る。そのために障害者・高齢認知症の人の意思決定支援の方策が必要となり、老健事業で、研究されてきた。

論点整理1、尊厳を守られるべき・・現状でできていないことを認識、認めることから

- 2、認知症の人であることで、その人の意思決定において差別を受けるべきではない
- 3、自己決定をする権利を有し、決定を尊重されるべき
- 4、必要な情報について説明を受けることが必要
- 5、理解できる方法で説明されるべき 1～5はすべての人に対しても言えること
- 6、法的な意思能力より、意思決定能力という言葉が適切 グラデーションあり
- 7、意思決定能力が相当低下している場合は保護されるべき
- 8、意思決定能力がないという判断は慎重に行うべき 原則だれにでもある
- 9、相当低下していても、説明して理解を得るように努めるべき
- 10、認知症の人が意思決定能力が相当低下している場合に、家族等に対して説明すること
- 11、現在の本人の意思を推定していくべき 書面の意思表示がある場合は、現在の意思を推定するのに有力な資料となる
- 12、その人の希望、人格、価値観を踏まえた最善の治療・非治療・ケアを追求するイギリスで制定されたメンタルキャパシティアウト(認知症の人の自己決定権を尊重する法)に基づいて、判断能力や自己決定能力の評価のプロセスが透明化厳密化。

意思決定支援者は、認知症の人が、一見すると意思決定が困難と思われる場合であっても、意思決定しながら尊厳をもって暮らしていくことの重要性について認識すること。認知症の人は、言語による意思表示が上手くできないことが多く想定されることから、意思決定支援者は、認知症の人の身振り手振り、表情の変化も意思表示として読み取る努力を最大限に行うことが求められる。

その人にとって一番良い事≠本人が何を望んでいるか、意思決定能力は、あるかないかという二者択一的ではなく(連続量)、段階的・漸次的に低減・喪失されていく。本人の意思を繰り返し確認することが必要であり、本人のその後の生活に影響を与えるような意思決定支援を行った場合には、その都度、記録を残しておくことが必要である。

●板井孝彦先生の講義から抜粋

演題：認知機能が衰えた方のACPは？—ACPって何？本人の「意思の推定」って？？？

思いやり→思い込み→独善になるとやっかい 本人は良かれと思っているけど、患者さんが望んだことなの？誰も死にたいとは思っていない、死がまぬがれない時期→死期を引き延ばすためだけの延命処置はお断りします 全部止めた時⇒何が起こるのか どこからが延命なのか

・厚生労働省が、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)：もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことの愛称を「人生会議」とした。無理やり書かせた文章は無効であること。

その言葉を書き留める・宮崎市の「わたしの想いをつなぐノート」は、街づくりである。奥さんの負担になりたくないから、人工呼吸器つけない→つけても負担にならないようにする・文章だけを独り歩きさせない 悩みながら、気持ちは揺れながら、決めきれないというのもあってよいこと・あなたはどこですごしたいの ×どこで死ぬ・「想いをつなぐ」ことができる支援体制の構築⇒広域連携チーム作り＝街づくりである。

医学モデル：治療のために生かされているが、生活ができていないから、最期までどこでどんなふうに暮らしたい、生き切りたいのかという生活モデルへ。大橋巨泉さんは、「家でどういう風に死ぬの」と主治医から言われ、巨泉さんはこの言葉を聞いてがっかりした。生きるために帰ってきたのかという思いである。

今ある情報の中で何が足りていて、何が不足しているのかを意識し、患者さんの意向＝どんな想い、どんな考えを持っている人なの？QOL＝患者さんのADL、生きがいなど 人生という物語周囲の状況＝家族の状況を理解することからである。

夕方からソワソワ「お客さんが来る」＝その方は、まだおかみさん お客さんが来るっから夕方あせっている。おかみさんがすることと考えると、理解できる。「おかみさん」と呼んでみる。夕食後に入れ歯を外してくれない→これから仕事が始まる時には入れ歯は外せない寝る前に自分で外してもらい、保管容器に入れてもらう。

決して一人で抱え込まない・患者さんの「人としての物語」を紡ぎだそうとする「構想力」根拠となる手がかりからまとめあげていく力が必要である。「想像」はときに「妄想」となり「思いやり」も身勝手な「思い込み」となり、「善意」も「独善」となってしまう。「わたしだったら」はダメ、この人はなぜこれが良いと思っているのか、これまでの生活から探すことであろう。



《アンケートより》

・稲葉先生のお話は、なかなか聞けない法律の面からの事で、貴重な学びとなりました。有難うございました。臨床倫理の「4分割法」を初めて知りました。考えをまとめる方法として活用できると思いました。構想力!! 素晴らしいお話でした。

・臨床現場における、患者・家族とのコミュニケーションに役立つと思われます。倫理だけではなく、法的な知識は、医療従事者として必須条件だと思います。是非、本日参加できなか

った同僚にも伝達し、情報共有を図っていきたいと考えています(理学療法士)

・「会議」ではなく「チームで話し合う」ということをこなしていくことで、効果的なケアにつなげていけることに気づきました(ケアマネジャー)

・多くの高齢者は控えめで遠慮がちです。孤独に過ごしている方も多く、自分の権利や尊厳についても理解は進んでいません。認知症になったらおしまいという姿勢も見受けられます。もっと主張的に自分の意思を表明できるようになる支援ができればいいなとも思っています(地域で高齢者のサロンを運営しています)(保健師)

・“説明して同意を得る”ではなく一緒に考える、意思を引き出すということ、まだまだ現状では、患者さんやそのご家族(身近な人を含む)は、医療者に言われた意見に引っ張られる状況は多々あると思います。自分がフラットな立場に立ち、引き出し、支援していくためにはこれからトレーニングが必要だと感じました(作業療法士)

・重症心(重症心身障害者)の方に関わる仕事をしていますが、今後の生活をどうするかということを含め、家族と話す時の声掛けの仕方を考える機会になりました。主人の両親や、自分の両親の今後を考える時に伝えていく参考にもなりました(看護師)

・認知機能低下した方との対話で、人生観や希望を記録に残すことが、そして、そのことがとても大事なことだと同僚に伝えること。推論できる事のイベントを記載していくころを心掛ける必要性を改めて思い知らされました(看護師)

・在宅で過ごしておられる利用者の方にも、認知症と診断されている方は多くおられます。その方々に接していく中で、意思決定支援の3つのプロセスを思い出しながら、寄り添っていきけるようにしたいと思います。(看護師)

・介護施設で、認知症の方に対しての意思決定について、いつも対応の難しさを感じていました。今日の講座を受けて、少し頭がスッキリしました。又、家族が終末期を迎えた時、延命治療についてどうするか、よく話し合いたいと思います(介護職)

・今後の退院支援や病気についての方法や手段、考え方の参考にしたいです。その人の思い、考えの理解と決定する対象に寄り添う時や、外来看護において意思決定の場で支援に役立てようと思います(看護師)

・妻 80 歳、脊柱管狭窄症(骨折)、
血管不整脈で外出することが少ないので、
家で面倒、手助けすることが多いので
参考になりました(患者会やサロン運営)



④ホームホスピス宮崎創立 20 周年記念事業 記念講演と映画上映会 テーマ：一日一日を丁寧に『暮らす』

【開催概要】

期日：2018年(平成30年)9月9日(日)12:30～

会場：宮崎市民プラザ 4F ギャラリー

参加者数：申込者数 201名 当日受付 15名 計 216名
スタッフ・ボランティア数 11名



【内容】

映画「人生フルーツ」上映会

人生は、だんだん美しくなる。

津端修一さん 90歳、英子さん 87歳の建築家夫婦の物語。

雑木林に囲まれた一軒の平屋。

「家は、暮らしの宝石箱でなくてははいけない」というる・コルビュジェの言葉のように、四季折々の暮らしが紡がれていきます。

丁寧に、時をためるような生き方。お二人の暮らし方から、ほんとの豊かさへの何かを考えさせられます。

*平成29年度文化庁映画賞「文化記録映画優秀賞」

東海テレビドキュメンタリー劇場第10弾、ナレーターは樹木希林

記念講演「一日一日を丁寧に『暮らす』」

講師：市原美穂（当会理事長）

内容：ホームホスピス宮崎の設立から20年の実践の経過をたどり、そのプロセスの中で生まれた「かあさんの家」の理念と、これまでに看取った方々の生きざまから学んできたこと、これからの生き方、生き方を学ぶ講演。

2004年に民家を借りてスタートした「かあさんの家」の理念は、一日一日を丁寧に暮らし、その延長上に人生の終わりがあると思っています。宮崎の地域が「いのち」を受け止める地域へ！なるように様々な活動を行ってきました。そのプロセスをたどると、映画「人生フルーツ」と重なるのです。死は特別のことではありません。人間にとっての自然な経過です。

そして、納得のいく看取りは、残されたご家族がその後も安寧に生きていかれることも含めて、かあさんの家で看取った方々の物語をお話しました。

アンケート回収 79枚

① イベントを知ったきっかけ（複数回答あり）

チラシ(19) 知人(34) 会員へのお知らせ(7) かあさんの家(10) ホームページ(3) 新聞(14)、テレビ(0) Facebook(1) その他(1…タウン宮崎)

② 年齢

20代(3) 30代(2) 40代(6) 50代(15) 60代(20) 70代(18) 80代以上(11)

参加者の年代別にみると、60代からの高齢者が多いことがわかります。自分たちの今後を考える生き方を模索している年代だからでしょう。「人生フルーツ」の映画は、宮崎市内のキネマ館ですでに上映されており、会場は市民プラザのギャラリー200名を想定していましたが、再度見たいという方々も多数いて、予約で満席となり、立ち見の方も出てしまいました。

風が吹けば、枯れ葉が落ちる。

枯れ葉が落ちれば、土が肥える。

土が肥えれば、果実が実る。こつこつ、ゆっくり。人生、フルーツ。

樹木希林さんのナレーションが、観客の心にしみわたっていったような時間でした。

《アンケートより》

映画「人生フルーツ」について

・映画とてもよかった。本当に最後まで見入ってしまい、感動しっぱなしでした。お二人の生き方に感動し、時間の日々の暮らしに幸せになりました。これからも少しでもいいので見習い実現に向かい生きたいと思います。

・とても穏やかな気持ちになりました。自分の人生を考える時間でした、1日1日を丁寧に生きることの大切さを日々思いながら生活したいと思います。

・私は落葉を捨てていますが、ゆっくり自分のペースでと思っていますが自分のペースでも考える事が大切ですね。この映画を観て、これからの1日1日が楽しく何事に対してもゆっくり考え進んで行きたいものです。ニッコリ笑ってゆっくりと…主人も楽しい人生だったと言って旅立ちました。

・人生フルーツを観て、日々の自分の暮らし方のなんと雑な事かと思うばかり。毎日の家事も面倒くさいと愚痴になるけど、人生を豊かに心楽しく暮らすエッセンスはどこにでも見いだせるのだなと思います。これからの人生に何か一つずつでも真似できれば自然に感謝の心が生まれると思います。

・人生フルーツの様な人生を送れたらいいな。私も71才。趣味で畑に野菜・果物を育てていますが、なかなか実りません。でも、子どもたちの喜びの顔を想像しながら体を動かしています。まさに主人と私、主人は畑を耕すだけですが、それでいいのです。楽しみながら体操と思い、明日は生きているかわからないので楽しみながら仲良く暮らしたい。人生フルーツのように。

・とても良かった。ご夫婦の丁寧な話し方、丁寧な生き方。考えさせられました。人生を楽しんで過ごしているなと感心した。自然の中に全て身を委ね、自然に逆らうことなく生きる素晴らしさを感じた。改めて、人として生きることを考えたように思います。

・映画をみて、毎日を大切に生きていく事の大切さを改めて感じました。これから老いを向かえていく私共ですが、少しでも周囲の方が幸せになれるように生活していきたいと思いました。

・生まれてくる時も1人、死ぬ時も1人と言われていますが70の声を聞くとまだまだ大丈夫と自分に言い聞かせています。でも1人の生活が長いと時々弱音をはいたり愚痴を言ったりしてしまう。老いても前を向き、明るく楽しく生きられるところまでガンバって。観ながらそうさうさうだとなおさら思ったところです。

・「家は人生の宝石箱」大変すてきな言葉でした。最後まで自分の足で動き、自分の頭で考え行動できるようありたいと今日の映画はとても参考になりました。

- ・人生フルーツの上映、2度目でしたが何度見ても素晴らしかったです。

講演について

- ・講演よかった。とても大切にされていることがわかった。このケアを全国に広げていただきたいです。そのためには、私たち市民も自分の覚悟が必要ではないかと思います。
- ・在宅で母を介護しています。市原さんの話を聞いてみたいと思っていました。誰でも通る道ですが少し気が楽になりました。
- ・かあさんの家についての様子がよく伝わりました。そして、かあさんの家と響きあう映画をみることで生きることとは何かを考えるではなく、深く感じる事ができました。
- ・人生の最終段階をリスペクトして世話し、生活を支える(生きることを)看取りまで家族と共にあるという支え方に感動しました。かあさんの家のことは、医療・看護の方々にもとても勉強になると思います。
- ・人生フルーツを観ようと軽い気持ちで来たけど、日常生活で考えることのない人生の終わり方について知り、考えさせられました。いいきっかけになりました。
- ・私自身本当に身につまされて聞かせて頂きました。その時期が間近なので今までの不安が少しでも安らぎを覚えました。
- ・かあさんの家の事は聞いていましたが、こんなに深く話を聞いたのは初めてでした。医療や薬は発達しても、人の気持ちを大切にすることが一番大切なんだなぁと思いました。
- ・ホームホスピスは、はじめて知りましたが、介護を必要とされている方の幸せそうな笑顔が印象的で、私もなんらかの形で関わっていかれたらと思わせていただきました。
- ・人らしく生きるとはについて今まで考えたことがなかった。今回講演会に参加させていただき、人らしく、自分らしく生きる家族と暮らすことは人生最大の幸福だと思えた。将来、私も色々と経験を積み、ホームホスピスに携わりたい。
- ・看護学校で働く教職員に講演を聞いてほしい。これからの在宅の形であると思う。いつかお手伝い出来たら知人を通して連絡いたします。ぜひ沖縄でもよろしく願い致します。
- ・一度お話を聞いてみたいと思っておりました。今回実現しまして感動しました。宮崎にこのような組織があり心強いです。これからもこのような勉強の機会に参加させていただきたいと思えます。
- ・もっとたくさんの方に知って頂きたい内容です。あと数回このような会を催してください。
- ・私は人生の終い方を決めています。そのために現在の生き方、やらなければいけない事を少しずつ進めています。かあさんの家にお世話になることも選択の1つです。最後の数日は子どもに迷惑をかけてもいいかなと考えています。
- ・自分はひょんなことから「かあさんの家」の存在を知りました。その時は自分はまだまだ元気よく生活できると思っていました。しかしそれから10年経って自分の兄・姉も亡くなっていたりしているので、自分達夫婦もどんな風なこれからの生命の(生活)の在り方をしたものか？改めて考えました。
- ・いろいろな事を考えさせられました。3年前に父が他界しましたが、いまだにたくさん後悔があります。父はまだ元気な時に「かあさんの家」のことを口にしていました。それなのに、病院の言いなりになってしまって最後看取れませんでした。いまだに後悔しています。母は看取り

たいと思っています。

- ・一言一言に感動いたしました。二年前に逝った母と重なり、2～3時間おきにオムツを夫と替えた事だけが良かったなあと思っています。

- ・人生の終わりを考えるようになり、興味をもって参加しました。私の人生も市原さんのお話のような最後になるといいと思いました。戦後生まれの私達の老後はとってもきびしいですね。不安はいっぱいです。この宮崎から理想のホームの型を発信するなんてとってもすばらしいと思います。

- ・「かあさんの家」名前しか知らなくてずっと興味関心がありました。本日、はじまりのところから詳しく伺えて、とてもよくわかりました。

③ 今後、希望の企画

- ・宮崎から始まったかあさんの家と、もっともっと宮崎の地元市民、多くの方々に関わっていただけるといいなと思いました。また、中学や高校で必修でビデオ(かあさんの家)などを観て学ぶ時間があればと思いました。

- ・介護を仕事としてしようとする人に紹介してほしいと思いました。

- ・看護学校でも講演など

- ・「かあさんの家」の家族の方の声を聴いてみたいです。

- ・私も看取ってもらいたいと感じました。

- ・毎年開催して下さい。(同じ内容で)

- ・映画は満足する内容でしたが、もっと庶民的な暮らしをしているような家庭の老いていく姿を撮っている映画があれば観たいです。

- ・もっともっと情報を発信して会員を増やしましょう。



3) エンドオブライフケア支援事業

【暮らしの保健室】

地域に開放した暮らしの保健室を目指して、

暮らしの保健室で催される内容を、毎月「暮らしの保健室だより」として発行した。

計 12 回発行

通年として、「ゆるりサロン」月・水 10:00～15:00 が開かれている。要支援までの認定を受けるまでもない一人暮らしの高齢の方や、要介護であっても、デイサービスの無い日など、気軽に出かけられ、そして、そこに行くとなじみの顔があり、楽しみができる。そうすることで、健康が取り戻し、認知症などの進行を抑えることができている。

月に1回、「ゆるり短歌会」では、読まれる1編1篇が、生活の中から感じられることや、季節の気配に感じられる感情などが織り込まれている。

そのほかの行事や会合など、35回、300名弱の方々の利用があった。

《暮らしの保健室利用状況》「ゆるりサロン」は定例・毎週月、水 10:00～15:00

月	日	曜日	内 容	人数
4	13	金	ゆるり短歌会	6
	15	日	聞き書き勉強会	5
5	27	日	定期総会	13
	28	月	宮崎キュアケアネットワーク	10
6	8	金	ゆるり短歌会	6
	9	土	えがおキッチン	19
	10	日	聞き書き勉強会	7
7	4	水	ごちゃまぜプロジェクト	8
	7	土	セルフお灸教室	5
	8	日	聞き書き勉強会	5
	18	水	理事会	5
8	4	土	聞き書き勉強会	7
	4	土	土曜シアター「この世界の片隅に」	10
	18	土	えがおキッチン	10
	24	金	訪問看護ステーションぱりおん小児イベント	28
9	13	木	足つぼ簡単講座 主催:赤江まちづくり推進委員会つなごう部会	12
	14	金	足つぼ簡単講座 主催:赤江まちづくり推進委員会つなごう部会	10
10	12	金	ゆるり短歌会	5
	30	火	ごちゃまぜプロジェクト	8

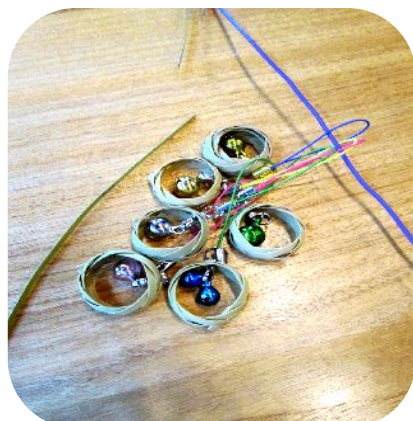
月	日	曜日	内容	人数
11	8	木	にっこり元気生活のためのセミナー 主催:オレンジの華	8
	11	日	聞き書き勉強会	2
	15	木	にっこり元気生活のためのセミナー 主催:オレンジの華	6
	29	木	ごちゃまぜプロジェクト	5
12	7	金	ゆるり短歌会	6
	9	日	聞き書き勉強会	2
	12	水	理事会	5
	15	土	えがおキッチン	17
1	20	日	聞き書き勉強会	7
	31	木	ごちゃまぜプロジェクト	9
2	8	金	ゆるり短歌会 ごちゃまぜプロジェクト	6 13
	17	日	聞き書き勉強会	9
3	9	土	えがおキッチン	10
	10	日	聞き書き勉強会	4
	27	水	理事会	5


【ゆるりサロン】

【足つば簡単講座(赤江まちづくり推進委員会つなごう部会)】




ふらっとカフェ利用の方を招いて
竹細工講座(キーホルダー製作)



事業	事業概要	事業内容と実績
暮らしの保健室	<p>◎ゆるりサロン 実施日時： 毎週月・水曜日（週2） 10:30～15:00</p> <p>担当理事：立川志乃</p> <p>ボランティア： 矢野小枝子、南谷佳子 藤本美穂、志磨村弘子</p> <p>体操指導： 三堂悦子、南谷佳子</p> <p>パッチワーク指導： 大山さよ子</p> <p>タクティールケア： 佐伯衣江・吉岡順子</p> <p>音楽療法： 毎月第1水曜日 指導：南正覚文子</p> 	<p>◆実施日（回数） 2018年4月(8)、5月(9)、6月(8)、7月(8)、8月(7)、 9月(6)、10月(8)、11月(8)、12月(7) 2019年1月(7)、2月(7)、3月(8) 合計 91回</p> <p>◆延べ利用者（人数） 2018年4月(53)、5月(57)、6月(49)、7月(56)、8月(43)、 9月(32)、10月(47)、11月(47)、12月(34)、2019年1月(32)、2月(28)、3月(38) 合計 516名</p> <p>◆延べボランティア数(人数) 2018年4月(30)、5月(42)、6月(34)、7月(36)、8月(37)、 9月(29)、10月(38)、11月(39)、12月(33)、 2019年1月(32)、2月(30)、3月(37) 合計 417名</p> <p>年間行事： 4/18 尺八演奏会 6/18 ペーパークラフト作り 6/25 竹細工講座 8/1 映画会「この世界の片隅に」 10/13 小戸之橋ストリートフェスティバル参加 10/22 ランチ会(すし処勝正) 12/26 クリスマス会 1/21 三社詣 ランチ会(MUKA) 音楽療法 毎月第1水曜日 4～2月 イオン幸せのイエローレシートキャンペーン参加</p> <p>健康管理を行い、毎度楽しいおしゃべり場を作っている。昼食も皆でいただき、完食を喜んでいる。また、パッチワーク、折り紙、ボール入れ等遊びを取り入れ、和やかに過ごしている。音楽療法では、体を動かし歌をうたい、楽器を奏で大声で笑いあって、あっという間に時間が経ち、いつも次回を楽しみにしている。タクティールケア、健康体操も好評である。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
暮らしの保健室	<p>◎えがおキッチン 講師：松井康代 (助産師・調理師)</p>  	<p>スローフードで、無農薬野菜や無添加の調味料を使って体に優しい料理を学びます。</p> <p>6/9(土) 「バーベキュー&パエリア」 参加者 18名 講師：松井康代</p> <p>8/18(土) 「知っておきたい食事の話」 「チキンと夏野菜のハーブ焼き・ウコン入り簡単サラダ等」 参加者 11名 講師：松井康代</p> <p>12/15(土) 「クリスマス料理」(クリスマスリースを作ろう) 参加者 16名 講師：松井康代</p> <p style="text-align: center;">合計 3回 延べ参加人数 45名</p> <p>今年度も宮崎の食材、簡単時短メニューで企画した。参加者は小中高生から高齢者と様々で、一般の方、体育協会会員、看護師、看護学生など多くの方に参加して頂いた。遠方は都城からの参加もあった。クリスマスパーティーでは数種類のケーキを作り、参加者で自由に飾り付けをしたが、見事なケーキが出来上がった。クリスマスリース作成も楽しめたようである。美味しいものを作りながら気軽に話せる空間であり、情報交換や交流が図れている。毎回ホームホスピス宮崎についても説明しているが、かあさんの家のボランティアにも興味を持って頂き3名が参加した。今後の課題は、毎年実施してる外部講師については好評なので検討していく。多くの方が参加出来るよう早めにホームページ等に掲載していく。</p>
	<p>◎セルフケアのための お灸教室 講師：園田清美 (看護師・鍼灸師)</p> 	<p>実施日と参加人数 (新規)</p> <p>7/7 (土) 10:00~11:30 「入門編」4(4)</p> <p>10/13 (土) 9:30~13:00 「小戸之橋ストリートフェスティバルお灸教室」25(25)</p> <p style="text-align: right;">参加人数 29 (29) 名</p> <p>お灸教室を開始し丸3年。今年は、定期的に教室を開くことが出来ず、ご迷惑をおかけしました。ホームホスピスからお声をかけて頂き、小戸之橋ストリートフェスティバルでお灸教室を実施することができました。お天気にも恵まれ、野外での開催でしたがお灸に興味を持って頂き、老若男女25名の方にお灸を体験していただき、実施後にはお灸の購入もしていただきました(棒灸が人気ありました。)両手2穴ずつ(計4穴)の施灸で、衣服の着脱の必要も無く、100円という手軽さも良かったと思います。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">暮らしの保健室</p>	<p>◎ゆるり短歌会</p> <p>実施日時： 隔月第2金曜日 10:30～12:00</p> <p>指導：堀越照代 担当：立川志乃</p> <p>会友： 高山美智子・戸部恵美子 興栢恵子・稲葉厚子 坂口まゆみ・堀越照代 長野律子・和田千年 立川志乃</p> 	<p>また、お灸を購入している方に、正しいお灸の使い方をお伝えすることができました。 次回開催の問い合わせも頂いているとのことで、ありがたいことです。今後、働く女性のためのお灸として週末夕方からのお灸(アフター5お灸)やランナーのためのお灸も実施してみたいと思っています。</p> <p>◆実施日(参加人数)</p> <p>2018年4/13(6)、6/8(6)、10/12(5)、11/9(5)、12/7(6) 2019年2/8(6)</p> <p style="text-align: right;"><u>合計6回 のべ参加人数34名</u></p> <p>12月から2名参加者が増え、会友は9名になりました。 2ヶ月に1度の短歌会を首を長くして待っています。 3月末までに、みんなで協力して短歌集「ひこうき雲」を作りました。</p> <p>◎海鼠(ナマコ)二尾ウヒャッと叫ぶ孫の竿黒きかたまり腹は真っ白 ◎国道の信号待ちに立つわれが消へても気付く人はなかりき ◎福は内落花生まく節分に鬼は外へと病む夫に当つ ◎梅香り山の陵線くつきりと吸い込まれゆく落日眩し ◎追悼花腕に抱きて別れゆく嘆きも共に分けあうごとく ◎一人では続かぬ事も「短歌会」出会いのありて歌を楽しむ ◎作業所にクッキーの香り立ち込めて障がいを持つ人汗ひかる ◎「大丈夫」患者に話す医師の声カーテン越しに吾に届きぬ ◎庭隅に枯葉のごとく潜みある飛蝗(バッタ)よ一世を満喫したか</p> <p>*ホームホスピス宮崎のホームページに作品を掲載しています。</p> 

事業	事業概要	事業内容と実績
宮崎市在宅療養支援事業（よろず相談室）	<p>◎在宅療養 でんわ相談室 （宮崎市補助事業） 相談担当： 白波さおり 市原美穂 吉村照代</p> <p>相談件数…59 件 相談内容内訳 ・施設入所 ・その他在宅医療、 看取りなど</p> <p>59 件のうち かあさんの家入居 4名</p>  <p>宮崎市 在宅療養でんわ相談室 不安なことや誰かに聞きたいことがあったら まずは電話で相談してみてください！</p> <p>ご利用の際は、必ずご住所や電話番号もお知らせください。お問い合わせは、必ずお名前を教えてください。お名前を教えてください。お名前を教えてください。</p> <p>ご利用の際は、必ずご住所や電話番号もお知らせください。お問い合わせは、必ずお名前を教えてください。お名前を教えてください。</p> <p>専用電話：0985-67-5003 <small>通話料は、通話料に別途料金がかかります。</small></p> <p>■相談内容 ・施設入所や在宅療養に関する相談 ・在宅療養に関する相談 ・在宅療養に関する相談 ・在宅療養に関する相談 ・在宅療養に関する相談</p>	<p>① 相談窓口の設置 ・宮崎市において、がんや認知症等の終末期患者で、医療機関での積極的な治療を望まず、住み慣れた地域で、馴染みの人に囲まれて最期の時を過ごしたいと在宅療養を選択して、様々な困難にぶつかったときに、共に考え話を聞き語ることで、自分自身の気持ちや症状を整理し、「わたしらしく生きる」道標の場を設置する。 ・相談窓口設置の周知のためにチラシ作成。</p> <p>② 相談に応じる為に、メンタルケアや看取り、認知症の介護に精通している看護師等の相談員を置く。吉村照代氏には認知症の方の相談のアドバイスを受けた。不定期の対応のため、賃金は発生していない。</p> <p>③ 相談専用電話機を設置し、常に相談できる体制を整える。 専用相談電話 0985-67-5003 相談日：週 5 日午前 10 時から午後 5 時まで開設。相談は、電話、または面接してお話を聞く。相談料無料。相談内容に関する個人情報保護の重要性を認識し適正に取扱う。</p> <p>④ がんや認知症の在宅療養に関する講演会を開催する。 ・期日：平成 31 年 2 月 3 日(日)14：00～16：00 ・会場：宮崎市民プラザ・オルブライトホール ・内容：「ピンピンコロリ」って可能ですか？ ・講師：長尾 和弘 氏（尼崎市在住） ・入場者数：170 名 ・実行委員・ボランティア数：11 名、事務局 4 名</p> <p>⑤ 相談内容は、癌の治療に関して抗がん剤や痛みの治療についてなどの専門的な医療の問題や、胃瘻や経管栄養をすることへの不安、どのように施設を選べばいいのかなど、医療や介護に関しての専門的な相談に加え、グリーフケアや介護うつ等の相談が増えたため、関係機関につなぎ必要な情報を提供した。癌に関する相談にいらっしゃった方には、県立宮崎病院で月 1 回開催している「ふらっとカフェ」を紹介。現在もご夫婦で毎月参加されている。また、当会の暮らしの保健室「ゆるりサロン」利用者家族からの在宅介護についての相談もあり、今後も見守ることとしている。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
ホームホスピスカあさんの家	<p>◎かあさんの家の運営</p> <p>(平成 31 年 3 月 31 日現在)</p> <p>統括マネージャー 久保野 イツ子</p> <p>曾師主任・薬師寺恵 霧島主任・谷口愛子 月見ヶ丘・荒川久美子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>◆<u>かあさんの家の運営</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した運営を目指す ・研修生の受け入れ ・家族会の開催 <p>≪事業内容≫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 訪問診療、訪問看護と必要に応じてその他の職種の訪問サービスを受け入れ、地域連携サービスを整える。ここから、他の事業所のデイサービスなど利用する。 ② 24 時間 365 日対応で、夜間 1 名、昼間 2 名のスタッフ配置。 ③ 家族を対象とした死のプロセスの理解や、看取りの心構えなどを、かかりつけ医や訪問看護ステーションと連携して保管する。看取りの時は、家族の食事や寝具などを提供し、安心して寄り添えるように配慮する。 ④ 高齢者の摂食嚥下に配慮し嚥下訓練やソフト食の提供。本年度より、調理師を採用したことで、台所からの音や匂いに刺激され食欲が増す効果がみられるようになった。 ⑤ 本人の意思を尊重した個別ケアを実施する。(排泄、食事、入浴、睡眠など) ⑥ 防災など地域住民と連携し、日ごろからのコミュニケーションを図る。日頃からの挨拶や地区の行事に参加するようにしている。 ⑦ 空いている民家を利用し、地域の共有財産として限りなく自宅に近い空間を提供、それが安心に繋がっている。 ⑧ 研修医、医学生、看護学生、自治学院、在宅ホスピスリーダー養成研修生の受け入れをし、研修の場として提供している。 <p>・かあさんの家 お花見</p> <p>期日：6 月 2 日 (土) 10:30~14:20</p> <p>会場：フローランテ宮崎</p> <p>参加者： 56 名</p> <p>曾師 4 名、霧島 4 名、月見ヶ丘 2 名 スタッフ 27 名・家族 19 名</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
ホームホスピスカあさんの家	<p>かあさんの家・曾師</p> <p>住人の数：4名</p> <p>平均介護度：4.8 (平成31年3月31日現在)</p> <p>スタッフ：介護職7名</p>	<p>☆かあさんの家・曾師</p> <p>看取り数：2名 新たな入居者：2名、 現在入居者：4名（経管栄養1名、認知症3名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混合型認知症で向精神薬を多剤投与。夜間が眠れず大きな声が出て他の入居者に影響がある為、薬の調整で一時入院。これまでは入居後、認知症の方への対応で、1、2カ月の経過で不穏は落ち着くのだが、変化が見られず入院中。 ・インフルエンザ罹患し肺炎を併発、入院となり状態が改善せず死去。“早くかあさんの家に帰りたい”という本人の願いをかなえることができず、せめてご遺体でも曾師に帰ってもらいお通夜。最後のお別れができた。 ・入院などで、ベッドが空いている期間があった。 ・地域でいつもお世話になっている方の入院に伴い、食事の支援をしたことで、安心して療養できたと感謝された。
	<p>かあさんの家・霧島</p> <p>住人の数：5名</p> <p>平均介護度：4.8 (平成31年3月31日現在)</p> <p>スタッフ：介護職6名 調理1名</p>	<p>☆かあさんの家・霧島</p> <p>看取り数：3名 新たな入居者：3名 自宅へ：1名 現在入居者：5名</p> <p>(神経難病1名、胃瘻1名、中心静脈栄養(TPN)、1名、認知症3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護が重度で、医療的な処置もあり、スタッフは一時も気が抜けないケアの体制が続いた。 ・施設から食べられなくなった方が入居され、口から食べることで復活し介護度も改善した。 ・看取りに至るまでの時間が緩やかで、ご家族が納得できる時間となった。「何もしない、自然な形で。」と見守った。
	<p>かあさんの家・月見ヶ丘</p> <p>住人の数：4名</p> <p>平均介護度：4.5 (平成31年3月31日現在)</p> <p>スタッフ：介護職6名 調理 1名</p> 	<p>☆かあさんの家・月見ヶ丘</p> <p>看取り数：3名 新たな入居者：4名 病院へ転出1名 現在入居者：6名</p> <p>(気管カニューレ1名、経管栄養2名、インシュリン1名、認知症2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下障害、認知症などで、医療的にも気管カニューレ、経管栄養、喀たん吸引などの医行為が求められ、重度介護が必要な方々である。 ・認知症とがんのため、最後の時間を入院ではなく生活の場で穏やかに過ごさせてやりたいという家族の願いで入居された方2名。短期であったが、ご家族が寄り添い、賑やかな看取りとなった。経管栄養や点滴の管を抜き、手足が自由になっただけでも本人らしさを取り戻した。


4) 医療・介護保険事業

事業	事業概要	事業内容と実績
訪問介護ステーションぱりおん	<p>★管理者：甲斐昌江</p> <p>★サービス提供責任者： 薬師寺恵 甲斐昌江 荒川久美子</p> <p>★スタッフ：22名 (2019年3月31日現在)</p> <p><u>介護福祉士9名</u> 甲斐昌江、荒川久美子 薬師寺恵、堀美和子 川越和子(准看)、日高静佳(准看)、里脇希実子、谷口愛子、二宮淳</p> <p><u>介護職員基礎研修受講：1名</u> 松山純子</p> <p><u>ヘルパー1級：3名</u> 松山和世、久保野イツ子(看護師)、横山万寿美(看護師)</p> <p><u>ヘルパー2級：7名</u> 太田幸、清水妙子、前田なつ、深井まゆみ、松本まゆみ、 渡辺憲子、濱田美香(准看)</p>	<p>【内部研修】 ①毎月初めに主任会議(シフト会議) ②定例スタッフ研修 5月:家族の会“かあさんの家”お花見の援助 6月:自分の為のセルフケア 講師:岐部葉子 桜花施療院 7月:自分の為のセルフケア 講師:岐部葉子 桜花施療院 8月:夏季反省会 9月:HHM20周年記念行事開催協力 10月:自分の為のセルフケア 講師:岐部葉子 桜花施療院 11月:全国ホームホスピス協会主催 福岡育成塾研修報告 12月:冬季反省会 1月:日常生活リハについて 2月:防災訓練 3月:スタッフ面談</p> <p>1月・2月はスタッフとの日程調整が出来ず実施できていません。</p> <p>【外部研修】(参加人数) 6月10～12日 ホームホスピス実践者育成塾各論 (福岡県) (2) 9月19日 第1回宮崎市集団指導(1) 12月1・2日「第7回ホームホスピス全国合同研修会・in 仙台」(2) (内1人はリーダー研修生) 2018年3月8日 高齢者虐待防止に関する研修会(1)</p> <p>研修案内はきているが、人員不足(残業が続く)の為、参加することが出来ていない。最低限受けないといけない研修のみ参加している状態です。</p> <p style="text-align: right;">講座数：4回 延べ参加人数：6名</p>
居宅介護支援事業所ぱりおん		<p>管理者退職により5月21日より休止</p>

事業	事業概要	事業内容と実績																																																																																																										
訪問看護ステーションぱりおん	<p> 所長：堤育子 常勤：広瀬知佳 松浦和美 日隠由美子（理学療法士） 7月採用 非常勤：川島小代子（理学療法士）5月退職 横山万寿美（看護師） 武藤麻衣子（看護師） 白波さおり（看護師） 田山地利香（理学療法士） 6月採用 堀尾美恵子（看護師）9月採用 非常勤事務員： 奈須京子 立川美穂 </p>	<p>事業内容と実績</p> <table border="1" data-bbox="758 340 1412 1048"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>介護 件数</th> <th>医療 件数</th> <th>介護 予防</th> <th>自費</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>63</td><td>155</td><td>3</td><td></td><td>221</td></tr> <tr><td>5</td><td>59</td><td>202</td><td>6</td><td></td><td>267</td></tr> <tr><td>6</td><td>53</td><td>176</td><td>4</td><td></td><td>233</td></tr> <tr><td>7</td><td>77</td><td>268</td><td>5</td><td></td><td>350</td></tr> <tr><td>8</td><td>95</td><td>309</td><td>4</td><td></td><td>408</td></tr> <tr><td>9</td><td>90</td><td>305</td><td>4</td><td></td><td>399</td></tr> <tr><td>10</td><td>93</td><td>324</td><td>3</td><td></td><td>420</td></tr> <tr><td>11</td><td>136</td><td>326</td><td>3</td><td>1</td><td>466</td></tr> <tr><td>12</td><td>169</td><td>347</td><td>3</td><td></td><td>519</td></tr> <tr><td>1</td><td>165</td><td>313</td><td>5</td><td></td><td>483</td></tr> <tr><td>2</td><td>158</td><td>293</td><td>4</td><td></td><td>455</td></tr> <tr><td>3</td><td>186</td><td>300</td><td>3</td><td></td><td>489</td></tr> <tr><td>計</td><td>1344</td><td>3318</td><td>47</td><td></td><td>4709</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">延べ訪問回数 4,709 件</p> <p>利用者数（月別） 4月25人 5月27人 6月26人 7月29人 8月31人 9月31人 10月37人 11月38人 12月41人 1月40人 2月37人 3月38人 計400人 月平均33人</p> <p>利用者病名</p> <div data-bbox="710 1456 1388 1926"> <p>利用者疾患分類</p> <table border="1"> <caption>利用者疾患分類</caption> <thead> <tr> <th>疾患名</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>小児</td><td>24%</td></tr> <tr><td>がん</td><td>21%</td></tr> <tr><td>老年</td><td>17%</td></tr> <tr><td>神経</td><td>9%</td></tr> <tr><td>呼吸器</td><td>6%</td></tr> <tr><td>内分泌</td><td>6%</td></tr> <tr><td>骨筋肉</td><td>7%</td></tr> <tr><td>認知症</td><td>4%</td></tr> <tr><td>泌尿器</td><td>3%</td></tr> <tr><td>精神</td><td>3%</td></tr> </tbody> </table> </div>	月	介護 件数	医療 件数	介護 予防	自費	計	4	63	155	3		221	5	59	202	6		267	6	53	176	4		233	7	77	268	5		350	8	95	309	4		408	9	90	305	4		399	10	93	324	3		420	11	136	326	3	1	466	12	169	347	3		519	1	165	313	5		483	2	158	293	4		455	3	186	300	3		489	計	1344	3318	47		4709	疾患名	割合	小児	24%	がん	21%	老年	17%	神経	9%	呼吸器	6%	内分泌	6%	骨筋肉	7%	認知症	4%	泌尿器	3%	精神	3%
月	介護 件数	医療 件数	介護 予防	自費	計																																																																																																							
4	63	155	3		221																																																																																																							
5	59	202	6		267																																																																																																							
6	53	176	4		233																																																																																																							
7	77	268	5		350																																																																																																							
8	95	309	4		408																																																																																																							
9	90	305	4		399																																																																																																							
10	93	324	3		420																																																																																																							
11	136	326	3	1	466																																																																																																							
12	169	347	3		519																																																																																																							
1	165	313	5		483																																																																																																							
2	158	293	4		455																																																																																																							
3	186	300	3		489																																																																																																							
計	1344	3318	47		4709																																																																																																							
疾患名	割合																																																																																																											
小児	24%																																																																																																											
がん	21%																																																																																																											
老年	17%																																																																																																											
神経	9%																																																																																																											
呼吸器	6%																																																																																																											
内分泌	6%																																																																																																											
骨筋肉	7%																																																																																																											
認知症	4%																																																																																																											
泌尿器	3%																																																																																																											
精神	3%																																																																																																											

事業	事業概要	事業内容と実績
訪問看護ステーションぱりおん		<p>【参加研修】</p> <p>4月 診療報酬研修（堤） 富山視察（堤）</p> <p>5月 クリニックうしたに研修（堤）エンディングノート研修（堤）</p> <p>6月 キュアケアネットワーク多職種研修（堤 広瀬） 南部病院研修（堤 広瀬）</p> <p>7月 人工呼吸管理（堤）人体シュミレータ（武藤 広瀬）</p> <p>10月 集団指導/介護事故（堤） クリニックうしたに研修（堤 広瀬）</p> <p>11月 倫理研修・福岡（堤 広瀬）地域交流研修/県病院 （堤 広瀬 武藤）脳卒中研修/看護協会（広瀬）</p> <p>12月 ホームホスピス全国合同研修会 IN 仙台（堤） サービス管理責任者研修（堤）現任者研修/身体拘束（松浦）</p> <p>1月 専門・認定看護師研修（堤）サービス管理責任者研修（堤）</p> <p>2月 倫理研修（堤 松浦）連携研修（堤 広瀬）</p> <p>3月 MCS 研修 認知症と睡眠（広瀬） 難病小児研修/日本財団（堤）</p> <p>【外部講師等】 （堤） 宮崎看護専門学校 宮崎大学医学部看護学科 日南看護専門学校 県立宮崎病院 宮崎県専門・認定看護師会役員 宮崎県看護人財交流支援事業協力員 訪問看護事業財団アドバイザー派遣事業アドバイザー （白波） 日南看護専門学校 宮崎看護専門学校</p> <p>【実習受け入れ】 日南看護専門学校 4名 宮崎看護専門学校医療専門課程 10名 宮崎大学医学部看護科 4名 九州保健福祉大学 4名 宮崎県看護協会小児訪問看護実習 1名</p>

5) ホームホスピス推進研修センター事業

事業	事業概要	事業内容と実績
<p>日本財団・在宅ホスピス実践リーダー養成研修</p>	<p>日本財団 在宅ホスピスケア実践リーダー養成 研修担当： 久保野イツ子</p> <p>研修生： 1地域から1名</p>	<p>【目的】 看取りを含む質の高い在宅ホスピスケアを行う専門職の養成</p> <p>【内容】 研修受け入れ機関として、ホームホスピスカあさんの家において、現場中心のホスピスケア・看取りの実地研修を6か月間に行う。</p> <p>【研修者】 看護師・介護福祉士・ケアマネジャーなどの専門職であること。</p> <p>【支援内容】 ・研修生の生活費補助（無給の場合）と受け入れ機関の研修費用が助成される。原則として研修者1名あたり45万円/月</p> <p>☆白谷 美和 2018年10/1～2019年3/29 福岡県糸島市</p> <p>白谷さんは訪問看護の経験に加え、ケアマネジャーとして地域連携室にも所属されていたので、看護・介護と地域が見える方でした。それに加え、今まで大変お世話になったおばあちゃんを自分のホームホスピスでお世話をし看取りたいとの思いがあり、研修の姿も非常にまじめで楽しんでおいででした。</p> 

事業	事業概要	事業内容と実績
一般社団法人全国ホームホスピス協会の事務局運営	<p>平成27年8月10日認証 (平成27年9月30日期末) 主たる事務所を宮崎市恒久2丁目19番6号におく。</p> <p>事務局体制 平成28年4月1日より開始。</p> <p>理事長：市原美穂 事務局長：黒岩雄二 事務局：岡田瑞穂 岩切知峰 (3/1～) 書記：古野たづ子</p> <p>理事会： 理事： 市原美穂 松本京子 竹熊千晶 兼行栄子 (12月1日まで) 樋口千恵子 高橋紘士 園田眞理子 金居久美子 (12月1日より)</p> <p>監事： 岡本峰子</p>	<p>一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局業務委託 【業務内容と実績】</p> <p>① 会員管理 正会員 42・準会員 4</p> <p>② 理事会の開催 2018年5/8 (東京都) 、10/14 (高千穂) 11/30 (仙台市) 2019年2/13 (神戸市) <u>計 4回</u> ・理事会の資料作成、旅費の支払い各理事との連絡などの業務。</p> <p>③ 定期総会 期日：2018年12月1日 会場：仙台市・APA ホテル TKP 仙台駅北 ・総会の運営、資料作成。</p> <p>④ ホームホスピスの認定業務 (現認定 10 法人)</p> <p>⑤ 認定審査業務 (レビュー)</p> <p>⑥ 実践リーダーリーダー研修の手続き業務</p> <p>⑦ 全国のホームホスピスの運営に関する相談</p> <p>⑧ 拠点整備団体の推薦 (2018年度はスプリンクラー対応も)</p> <p>⑨ 協会主催の研修会の運営 《第2回ホームホスピス実践者育成塾》の開催 総論：2018年5月9日、10日 (東京) 各論：2018年6月10、11、12日 (福岡) 《全国合同研修会の開催》 期日：2018年12月1、2日 会場：APA ホテル TKP 仙台駅北</p> <p>⑩ ホームページ運営・ニュースレター (たんぼぼ) の発行</p> <p>⑪ 全国の支部活動の支援</p> <p>⑫ 新しく開設されたホームホスピスへの支援</p> <p>⑬ 助成金の申請他、ホームホスピスの運営に関する資料作成などの業務</p> <p>【今期の成果物】 ・ニュースレター (たんぼぼ3号)</p>

6) 街ン中ごちゃまぜプロジェクト

【メンバー】

桐ヶ谷大淳、吉村学、黒岩雄二、堤育子、市原美穂、久保野イツ子、萩原尉子、川添英司、大西三紀子、上田理加、岡元俊雄、宇都仁恵、日隠由美子、黒木智子、岡田瑞穂、広瀬知佳

【会 議】

開催日 (参加人数)・・・7/4 (8)、7/12 (5)、10/30 (8)、11/29 (5)、1/31 (9)、2/8 (13)



【視 察・出張】

4月18日

視察先：福井市 オレンジホームケアクリニック

参加者：市原、堤、黒岩、宮崎大学（桐ヶ谷先生、有馬さん、山本さん）

視察内容：他職種が混ざり合うオープンオフィス（オレンジベース）

重症心身障害児の預かり施設（オレンジキッズ）など。



4月19日

視察先：富山市 富山まちなか診療所／まちなか総合ケアセンター／富山型デイふらっと

参加者：福井の参加者に加えて大成建設（岡田さん）が参加

視察内容：産後の母親ケア施設、ホテルのようなショートステイ設備、

街の保健室、医師会のバックアップの仕組みなど。



4月20日 視察先：白山市 佛子園

参加者：市原、（宮崎大学：桐ヶ谷先生、有馬さん、山本さん）

視察内容：廃寺を再生した地域のコミュニティスペース。就労継続支援や高齢者通所介護

のある福祉施設と、商業施設（温泉、蕎麦屋、マッサージ、駄菓子屋）を

相談支援、児童発達支援、放課後デイサービスなどが、囲むようにある。

地域を基盤としたごちゃまぜコミュニティ。

4月25日

視察先：鹿児島市 ナガヤタワー

参加者：市原、久保野、黒岩、堤、岡田、宇都、萩原、川添、岡元



視察内容：共有スペースのあるマンション型のシェアハウス、
相互扶助形式のコミュニティの在り方など。

11月6日

訪問先：日本財団 訪問者：市原、黒岩

内 容：笹川会長にホームホスピスについてプレゼンおよび日本財団理事からの
インタビュー（ホームページ記事のため）など。

11月7日

訪問先：東京大学 本部氏 訪問者：市原、黒岩

内 容：ごちゃまぜプロジェクトの進捗報告と土地利用の相談のため。

2月13日

訪問先：日本財団 訪問者：市原、黒岩

内 容：難病支援事業の担当者（中嶋さん）へプロジェクト支援の相談のため。

2月27日

訪問先：日本財団 スペシャルニーズのある子どもと家族支援を考えるシンポジウム

訪問者：堤、桐ヶ谷先生

内 容：日本財団小児難病支援プロジェクトの主催シンポジウムに参加のため。

3月15日

訪問先：熊本県合志市 ボンボン（NPO 法人 NEXSTEP 運営の小児療養通所施設）

訪問者：市原、川添

内 容：日本財団小児難病支援プロジェクトが支援（推奨）する施設の見学のため。

3月17日

訪問先：熊本保健科学大学

訪問者：黒岩、堤

内 容：NPO 法人 NEXSTEP 主催のシンポジウム「小児在宅他職種連携セミナー」に参加のため。

3月18日

訪問先：熊本県合志市 ボンボン（NPO 法人 NEXSTEP 運営の小児療養通所施設）

訪問者：黒岩、堤

内 容：日本財団小児難病支援プロジェクトが支援（推奨）する施設の見学のため。

3月23日

訪問先：松山市 在宅ケアセンターひなたぼっこ

訪問者：堤、日隠、広瀬、笠原

内 容：療養通所介護（介護保険）と児童発達支援の総合ケアの見学のため。

7) 情報・広報

①ニュース発行及びパンフレット

- ・ニュースレター 2018年6月発行…23号
2019年1月発行…24号
- ・暮らしの保健室だより 毎月初めに発行(12回)
- ・ブログ(ぱりおん) <http://blog.canpan.info/hhmiyazaki/>
- ・Facebook <https://www.facebook.com/homeospice.miyazaki/>
- ・ホームページ <http://www.npo-hhm.jp/>

マスコミなどの紹介

《雑誌などの掲載の雑誌名》

- 2018年 5月号 Jupia
 2018年 8月号 0→100
 2018年 11月臨時増刊号 コミュニティケア「おまかせうんちっち」

《新聞の掲載》

- 2018年 5/20 朝日新聞
 9/14 宮崎日日新聞
 2019年 2/2 朝日新聞
 2/28 宮崎日日新聞

②講演・講師派遣 市原(I)、久保野(K)、堤(T)、白波(S)

月	日	曜	講演		
4月	19	木	富山大学まちなか診療所	富山県	I
	29	日	日本在宅医学会第20回記念大会	東京都	I
5月	13	日	宮崎看護専門学校 医療高等課程	宮崎市	T
	19	土	小林熱中小学校	小林市	I
	25	金	宮崎看護専門学校医療専門課程 地域看護概論	宮崎市	T
6月	1	金	宮崎看護専門学校医療専門課程 地域看護概論	宮崎市	T
	8	金	宮崎看護専門学校医療専門課程 地域看護概論	宮崎市	T
	21	木	日南看護専門学校	日南市	T
	29	金	宮崎大学医学部看護学科 がん、小児訪問看護	宮崎市	T
	11	水	JA みい	福岡県	I

7月	25	水	平成30年度人権担当者養成講座	宮崎市	I
----	----	---	-----------------	-----	---

月	日	曜	講 演		
8月	25	土	JA延岡女性部 第54回家の光大会	延岡市	I
	14	金	宮崎県看護連盟支部研修	新富町	I
	22	土	まなびのコミセン	宮崎市	I
	26	日	日南看護専門学校	日南市	T・S
9月	19	水	日南看護専門学校 在宅呼吸器看護	日南市	S
	26	水	宮崎看護専門学校	宮崎市	S
10月	3	水	宮崎看護専門学校	宮崎市	S
	10	水	日南看護専門学校	日南市	T
	11	木	宮崎看護専門学校	宮崎市	S
	13	土	西臼杵・町民公開講座	高千穂町	I
	19	金	宮崎看護専門学校	宮崎市	S
	30	火	宮崎県立看護大学	宮崎市	I
11月	7	木	専門・認定看護師委員会主催研修会	宮崎市	T
	13	火	ターミナルケア研修 基礎編	宮崎市	I
	23	金	県立宮崎病院院内研修	宮崎市	K
	24	土	宝塚市男女共同参画センター 市民力開発講座	兵庫県	I
甲南大学			兵庫県	I	
12月	8	土	平成30年度 宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会	宮崎市	T
	10	月	平成30年度 宮崎県レディース中央会研修会	宮崎市	I
1月	19	土	十和田	青森県	I
	25	金	南九州市多職種連携合同研修会	鹿児島県	I
			平成30年度宮崎県立宮崎病院等看護職員研修	宮崎市	T
26	土	宮崎県看護研修センター	宮崎市	T	
2月	15	金	宮崎県高等学校教育研究会地理歴史科公民科研究会	新富町	I
	26	火	家族介護教室	川南町	I
合 計					35

① 見学者受け入れ

月	日	曜	見学者名		人数
4月	14	土	桜新町アーバンクリニック在宅医療部	東京都	7
	16、17	月火	白之会	長崎県	2
	21、22	土日	われもこう	熊本県	1
	22	日		全国各地	7
	23、24	月火	訪問介護ステーション安庵	宮崎市	2
	26	木	安田 昌子	福岡県	1
5月	14、15	月火	ささえるクリニック	北海道	2
	24	木	麻生専門学校	福岡県	3
6月	8	金	中村	兵庫県	1
	13~15	水~金	ホームホスピスにじいろのいえ	宮城県	2
	21	木	ケアポートよしだ	島根県・長野県	13
7月	4	水	佐藤・原衛	東京都・宮崎市	3
	13	金	ひめの病院	福岡県	2
	17~19	水~金	ながやタワー	鹿児島県	1
8月	10	金	小林、ふきのとうの会	兵庫県	5
			中島	富山県	2
	20	月	豊田高専	愛知県	2
10月	14	日	蛭田病院	福岡県	1
	19	金	アルモ訪問看護 ST	神奈川県	2
11月	2	金	南正覚	宮崎市	3
	3	土	小林市社協・ケアタウン総合研究所	小林市・東京都	2
	4	日	宮崎南高校	宮崎市	1
	16	金	宇和島病院	徳島県	5
1月	15	火	医療法人アスムス	茨城県	2
	16	水	一般財団法人非営利組織評価センター	東京都	1
	22	火	立山	小林市	1
2月	23	土	フォルケ	全国各地	8
	27	水	下野	都城市	1
3月	19	火	藤田	千葉県	1
	22	金	郡山	都城市	3
合 計				人数	87

8) 組織運営

①理事会・定期総会

・理事会

場所：暮らしの保健室

日時：

第1回 2018年(平成30年)7月18日11時

・平成30年度夏期賞与について

第2回 2018年(平成30年)12月12日11時

・平成30年度冬期賞与について

第3回 2019年(平成31年)3月27日19時

・2018年度(平成31年度)予算案・事業計画案について

・定期総会日程について

・定期総会

定時総会 2018年(平成30年)5月27日(日)午後13時半から14時半

暮らしの保健室

正会員総数19名のうち 総会出席会員数5名(うち委任出席10名)

議長：松田公利 議事録署名人：黒岩雄二、久保野イツ子

1. 2017年度(平成29年度)事業報告・収支報告

2. 監査報告：堀越照代

3. 役員選出

報告事項…2018年度事業計画・予算

・会員(2019年3月31日現在)

正会員22名 賛助会員89名 団体賛助会員 3団体

・寄付者

66名(団体も含む)

②事務局

開催日：日にちの設定はしていないが、その都度打ち合わせを行ってきた。

参加者：市原美穂、久保野イツ子、黒岩雄二、甲斐昌江、立川志乃、岡田瑞穂、久保野郁美、
堤育子、舟井美穂

《事務局体制》 岡田瑞穂、久保野郁美、舟井美穂

2018 年度決算

2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

単位 (円)

収益の部	2018 年度予算 額	2018 年度決算 額	決算差額	備考
1. 非収益事業				寄付、助成金及び法人税法上の収益事業に該当しない事業
(1) NPO 事業				
会費	240,000	220,000	▲ 20,000	正会員 22 人* 10,000 円
寄付金	4,200,000	3,347,190	▲ 852,810	賛助会員含む(個人 102 口・団体 3 口)
講座収益	350,000	317,000	▲ 33,000	これからライフデザイン塾、在宅療養相談事業、がんサポ
委託事業	920,000	914,000	▲ 6,000	ふらっとカフェ、がんサポ
助成金	7,600,000	8,927,800	1,327,800	日本財団(拠点整備)、中退共、労働局宮崎市(中退共)
補助金	2,300,000	2,300,000	0	宮崎市在宅療養相談事業
暮らしの保健室活動	250,000	302,900	52,900	ゆるりサロン、ゆるり短歌会、えがおキッチンお灸教室
研修・実習	2,700,000	2,700,000	0	リーダー養成 270 万*1 人
業務委託	2,000,000	1,437,665	▲ 562,335	全国ホームホスピス協会事務委託
その他の収益	2,500,000	2,545,905	45,905	講師収入、見学科、協会事務所使用料、雑収入、みなし寄付
(2) かあさんの家事業				
研修料	300,000	211,000	▲ 89,000	研修生受入
(3) 訪問看護事業				
研修料	200,000	149,000	▲ 51,000	教育実習料
小 計	23,560,000	23,372,460	▲ 187,540	
2. 収益事業				
(1) かあさんの家事業				居宅介護事業含む
訪問介護報酬等	44,000,000	28,936,169	▲ 15,063,831	訪問介護、居宅、処遇改善
生活支援収益	34,500,000	26,406,139	▲ 8,093,861	食材、生活支援、居室費、共益費等
その他の収益	2,500,000	2,190,121	▲ 309,879	衛生用品、介護用品販売、過年度損益修正益、雑収入
小 計	81,000,000	57,532,429	▲ 23,467,571	
(2) 訪問看護事業				
訪問看護報酬等	33,000,000	38,871,316	5,871,316	訪問看護報酬、訪問看護利用料 過年度損益修正益
小 計	33,000,000	38,871,316	5,871,316	
(3) その他の収益				
雑収入	0	143,048	143,048	書籍等
受取利息	0	61	61	
小 計	0	143,109	143,109	
当期事業収益合計	137,560,000	119,919,314	▲ 17,640,686	

支出の部	2018年度予算額	2018年度決算額	決算差額	備考
1. 非収益事業				
【事業費】				
講座・講演	1,200,000	1,020,564	179,436	これからライフデザイン塾、がんサポーター養成、在宅療養相談事業、講師謝金等
ボランティア活動	600,000	509,845	90,155	ボランティア活動、暮らしの保健室活動
その他の経費	2,500,000	393,790	2,106,210	研修費、新聞図書費、消耗品費、旅費交通費、印刷経費、会議費、通信運搬費、接待交際費、雑費
小計	4,300,000	1,924,199	2,375,801	
【管理費】				
理事報酬	3,480,000	3,480,000	0	
事務人件費	7,600,000	7,541,279	58,721	法定福利費、福利厚生費、中退共含む
通常経費	4,300,000	4,268,258	31,742	印刷経費、会議費、旅費交通費、研修費、車両諸経費、通信運搬費、消耗品費、修繕費、水道光熱費、地代家賃、接待交際 リース料、租税公課、管理諸費
その他の経費	1,600,000	1,260,599	339,401	保険料、諸会費、支払手数料、支払利息、慶弔費、寄附金、雑費
小計	16,980,000	16,550,136	429,864	
事業合計	21,280,000	18,474,335	2,805,665	
2. 収益事業				
(1) かあさんの家事業				居宅介護事業含む
【事業費】				
人件費	62,000,000	53,070,045	8,929,955	法定福利費、福利厚生費、中退共含む
通常経費	11,000,000	9,339,884	1,660,116	食材費、居住経費、地代家賃、水道光熱費、通信運搬費、消耗品費、過年度損益修正損
商品仕入れ	2,300,000	1,955,834	344,166	衛生用品、介護食品
その他の経費	7,600,000	0	7,600,000	
小計	82,900,000	64,365,763	18,534,237	
【管理費】				
住居管理費	300,000	395,820	▲ 95,820	修繕費
労務管理	800,000	630,344	169,656	印刷経費、会議費、旅費交通費、研修費、車両諸経費、通信運搬費、消耗品費、地代家賃、接待交際費、新聞図書費、租税公課、管理諸費
その他の経費	450,000	210,770	239,230	支払手数料、慶弔費
小計	1,550,000	1,236,934	313,066	
事業合計	84,450,000	65,602,697	18,847,303	

(2) 訪問看護事業				
【事業費】	2018年度予算額	2018年度決算額	決算差額	備考
人件費	21,500,000	20,261,284	1,238,716	法定福利費、福利厚生費、中退共含む
通常経費	1,800,000	1,089,381	710,619	通信運搬費、看護経費、接待交際費、車両諸経費、過年度損益修正損
小計	23,300,000	21,350,665	1,949,335	
【管理費】				
事務人件費	550,000	930,033	▲ 380,033	福利厚生費含む
労務管理	1,400,000	1,804,335	▲ 404,335	印刷経費、会議費、旅費交通費、研修費、通信運搬費、消耗品費、地代家賃、接待交際費、新聞図書費、リース料、租税公課、管理諸費
その他の経費	500,000	1,721,025	▲ 1,221,025	保険料、諸会費、支払手数料、慶弔費、雑費、みなし寄付
小計	2,450,000	4,455,393	▲ 2,005,393	
事業合計	25,750,000	25,806,058	▲ 56,058	
(3) その他の支出				
【事業費】				
本仕入れ	50,000	162,303	▲ 112,303	書籍
小計	50,000	162,303	▲ 112,303	
【管理費】				
減価償却費	4,000,000	4,653,096	▲ 653,096	建物・建物付属設備・車両・器具備品
小計	4,000,000	4,653,096	▲ 653,096	
事業合計	4,050,000	4,815,399	▲ 765,399	
当期事業支出合計	135,530,000	114,698,489	20,831,511	
3. 予備費	2,030,000	0	2,030,000	
当期支出合計	137,560,000	114,698,489	22,861,511	

税引前当期正味財産増減額	5,220,825		
当期正味財産増減額	5,220,825		
前期繰越正味財産額	59,430,772		
次期繰越正味財産額	64,651,597		

※ 研修費の一部、消耗品費、通信費、水道光熱費、賃借料の一部、労務管理費は、各部門の人員費比率による按分により算出→非収益事業(18%) : かあさんの家事業(49%) : 訪問看護事業(33%)

2018 年度財産目録

単位(円)

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	33,831
小口 現金	180,076
曾師かあさんの家	(7,492)
霧島かあさんの家	(10,868)
月見ヶ丘かあさんの家	(2,790)
ゆるりサロン	(1,805)
訪問看護	(157,121)
普通 預金	4,136,140
宮崎太陽銀行南支店	(3,082,456)
宮崎太陽銀行城ヶ崎支店	(7,200)
宮崎太陽銀行訪看	(364,993)
宮崎銀行宮崎支店	(377,686)
郵貯銀行	(128,448)
労働金庫宮崎支店	(175,357)
現金・預金 計	4,350,047

(売上債権)

未 収 金	11,998,798
入居未収金	2,614,905
訪問看護未収金	278,534
売上債権 計	14,892,237

(棚卸資産)

貯 蔵 品	527,352
棚卸資産 計	527,352

(その他流動資産)

前払 費用	20,000
立 替 金	1,249,571
短期貸付金	275,000
預 託 金	9,060
その他流動資産 計	1,553,631

流動資産合計

21,323,267

【固定資産】

(有形固定資産)

土 地

建 物			
建物付属設備			
構 築 物	17,397,466		
車両運搬具	34,405,132		
器具備品	13,232,059		
有形固定資産 計	1,910,045		
(無形固定資産)	2		
電話加入権	241,636		
無形固定資産 計	67,186,340		
(投資その他の資産)			
敷 金	69,840		
投資その他の資産 計	69,840		
固定資産合計			
資産合計	243,000		
	243,000		
《負債の部》		67,499,180	
【流動負債】			88,822,447
未 払 金			
前 受 金			
短期借入金			
預 り 金	2,626,588		
入居預り金	13,000		
流動負債合計	6,638,307		
【固定負債】	1,099,955		
長期借入金	2,400,000		
固定負債合計		12,777,850	
負債合計			
	11,393,000		
正味財産		11,393,000	
			24,170,850
《正味財産》			
			64,651,597
前期繰越正味財産			
当期正味財産増加額			
次期繰越正味財産			
	59,430,772		
	5,220,825		
			64,651,597

貸借対照表

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成31年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)	
現金	33,831
小口現金	180,076
普通預金	4,136,140
現金・預金計	4,350,047
(売上債権)	
未収金	11,998,798
入居未収金	2,614,905
訪問看護未収金	278,534
売上債権計	14,892,237
(棚卸資産)	
貯蔵品	527,352
棚卸資産計	527,352
(その他流動資産)	
前払費用	20,000
立替金	1,249,571
短期貸付金	275,000
預託金	9,060
その他流動資産計	1,553,631
流動資産合計	21,323,267

【固定資産】

(有形固定資産)	
土地	17,397,466
建物	34,405,132
建物付属設備	13,232,059
構築物	1,910,045
車両運搬具	2
器具備品	241,636
有形固定資産計	67,186,340
(無形固定資産)	
電話加入権	69,840
無形固定資産計	69,840
(投資その他の資産)	
敷金	243,000
投資その他の資産計	243,000
固定資産合計	67,499,180
資産合計	88,822,447

《負債の部》

【流動負債】

未払金	2,626,588
前受金	13,000
短期借入金	6,638,307
預り金	1,099,955
入居預り金	2,400,000
流動負債合計	12,777,850

【固定負債】

長期借入金	11,393,000
固定負債合計	11,393,000
負債合計	24,170,850

《正味財産の部》

前期繰越正味財産	59,430,772
当期正味財産増減額	5,220,825
正味財産合計	64,651,597
負債及び正味財産合計	88,822,447

財 産 目 録

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成31年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金		33,831	
小口 現金		180,076	
曾師かあさんの家		(7,492)	
霧島かあさんの家		(10,868)	
月見ヶ丘かあさんの家		(2,790)	
ゆりか		(1,805)	
訪問看護		(157,121)	
普通 預金		4,136,140	
宮崎太陽銀行南支店		(3,082,456)	
宮崎太陽銀行城ヶ崎支店		(7,200)	
宮崎太陽銀行訪看		(364,993)	
宮崎銀行宮崎支店		(377,686)	
郵貯銀行		(128,448)	
労働金庫宮崎支店		(175,357)	
現金・預金 計		4,350,047	

(売上債権)

未 収 金		11,998,798	
入居未収金		2,614,905	
訪問看護未収金		278,534	
売上債権 計		14,892,237	

(棚卸資産)

貯 蔵 品		527,352	
棚卸資産 計		527,352	

(その他流動資産)

前払 費用		20,000	
立 替 金		1,249,571	
短期貸付金		275,000	
預 託 金		9,060	
その他流動資産 計		1,553,631	

流動資産合計

21,323,267

【固定資産】

(有形固定資産)

土 地		17,397,466	
建 物		34,405,132	
建物付属設備		13,232,059	
構 築 物		1,910,045	
車両運搬具		2	
器具備品		241,636	
有形固定資産 計		67,186,340	

(無形固定資産)

電話加入権		69,840	
無形固定資産 計		69,840	

(投資その他の資産)

敷 金		243,000	
投資その他の資産 計		243,000	

固定資産合計

67,499,180

資産合計

88,822,447

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金		2,626,588	
前 受 金		13,000	

財 産 目 録

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成31年 3月31日 現在

短期借入金	6,638,307	
預り金	1,099,955	
入居預り金	2,400,000	
流動負債合計		12,777,850
【固定負債】		
長期借入金	11,393,000	
固定負債合計		11,393,000
負債合計		24,170,850
正味財産		64,651,597

2018年度

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎の会計を別紙のとおり決算いたしました。

2019年5月20日

認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎
理事長 市原 美穂

2018年度

認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎

事業監査報告ならびに会計監査報告

1. 監査実施年月日 2019年5月20日
2. 業務執行の状況及び財産の状況 事業報告ならびに決算会計

2018年度の事業報告の説明を受け、決算書・会計帳簿・預金通帳・領収書及び関係証拠書類を閲覧し照合した結果、事業報告の内容は正しく、収支報告及び各帳簿は相違なく適正に執行処理されていることを認め、真実であることを報告致します。

2019年5月20日

認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎

監事 弘中 信厚 

監事 吉村 一隆 

監事 堀越 照代 